

「令和4年度病害虫発生予報第6号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稲では、斑点米カメムシ類の発生が、北海道、東北、北陸、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜では、オオタバコガの発生が、関東、東海、北陸、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、南東北、関東、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、水稲のいもち病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（8月4日付け）では、気温は全国的に高いと予想されています。降水量は北日本で平年並か多い、東日本太平洋側と西日本で少ない、そして、東日本日本海側と沖縄・奄美で平年並か少ないと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稲

水稲で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稲	セジロウンカ	北東北	南関東、東海
	ツマグロヨコバイ	北陸、近畿、四国	
	トビイロウンカ		東海、近畿、九州
	斑点米カメムシ類	北海道、東北、北陸、東海、近畿、中国、四国	甲信、北九州
	いもち病	北東北、甲信、近畿、中国、四国	北海道、南東北、北関東、東海、九州
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	近畿、四国	南関東、東海
	紋枯病	北陸、中国、四国	関東、東海、近畿、九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**斑点米カメムシ類**の発生が、北海道、東北、北陸、東海、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、本年は現時点で15道府県から延べ18件の注意報が発表されています。本虫類による被害の程度は、出穂期、水田への本虫類の侵入量、カメムシの発生種の構成等によって異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、適期に防除を実施してください。

なお、本虫類は、水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。このため、水田周辺雑草の除草は本虫類の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫類の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。

・**いもち病**の発生が、北東北、甲信、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県、長野県、滋賀県、京都府、山口県及び高知県から注意報が発表されています。今後、断続的な降雨がある場合には本病が急激に発生するおそれがあります。また、葉いもちの発生が多く、上位葉に葉いもちの病斑が見られる場合は、葉いもちから穂いもちへの移行が懸念されます。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて穂いもちに移行しないように防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

・**ツマグロヨコバイ**の発生が、北陸、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、多発すると吸汁による生育不良を引き起こし、出穂期以降では茎葉や穂にすす病を引き起こします。また、本虫はイネ萎縮病などのウイルス病を媒介します。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本虫の本田での発生状況を把握するとともに、適期に防除を実施してください。

・**縞葉枯病(ヒメトビウンカ)**の発生が、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、ヒメトビウンカによって媒介されるウイルス病であり、経卵伝染により次世代もウイルス媒介が継続するため、当該虫を対象とした防除を実施することが重要です。

なお、当該虫の防除を実施する場合は、薬剤抵抗性の発達を助長しないよう、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統の薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

・**紋枯病**の発生が、北陸、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は高温多湿条件で発生が助長されます。都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて適期に防除を実施してください。

豆類

豆類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	吸実性カメムシ類	北東北、北陸	南東北、北関東、東海

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・吸実性カメムシ類の発生が、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。本虫類の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類		北関東、近畿、四国、北九州
	ハダニ類	南関東、南九州	北関東、近畿、四国、北九州
	炭そ病	東海	南関東、近畿、四国
きゅうり	アザミウマ類	四国	北陸
トマト	コナジラミ類	四国	関東、九州
なす	アザミウマ類	南関東	北陸、南九州
	アブラムシ類	四国	近畿
	ハダニ類	南関東	甲信、近畿、四国
ねぎ	アザミウマ類	北東北、南関東、四国	南東北、北陸、近畿、中国、北九州
	黒斑病		東北、北陸、北九州
アブラナ科全般	コナガ	南関東	北海道、北陸
きく	アザミウマ類		南東北、東海、近畿、南九州
	アブラムシ類		南東北、近畿、南九州
作物共通	オオタバコガ	関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州	北東北
	シロイチモジヨトウ	関東、近畿、中国、四国	北陸、東海、北九州
	ハスモンヨトウ	北関東、北陸、中国、四国	東海、近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・オオタバコガの発生が、関東、東海、北陸、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、埼玉県及び大分県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下し、また、幼虫が植物体に食入してからでは防除が困難となるため、ふ化してから食入する前の若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・シロイチモジヨトウの発生が、関東、近畿、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、埼玉県及び京都府から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

・ハスモンヨトウの発生が、北関東、北陸、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

いちご

・炭そ病の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されており、愛知県からは注意報が発表されています。本病は気温が高くなる時期に発生しやすいので、今後の発生状況に注意し、感染株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。また、菌の胞子はかん水などにより飛散し感染するため、かん水の際には水滴の小さい機材等の利用も検討してください。

・ハダニ類の発生が、南関東及び南九州の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

なす

・ハダニ類の発生が、南関東の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

ねぎ

・アザミウマ類の発生が、北東北、南関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。本虫類は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭そ病		東海、近畿、中国、四国
かんきつ	ハダニ類	四国	南関東、東海、近畿、九州
なし	シンクイムシ類	北関東、東海	南東北、南関東、北九州
	ハダニ類	北東北、関東、甲信、北陸、近畿、中国	南東北、東海、北九州
	黒星病	北陸	南東北、南関東
	黒斑病	近畿	北陸
もも	ハダニ類	甲信	南東北、中国、四国
りんご	ハダニ類	北東北、甲信、北陸	南東北
	斑点落葉病		南東北、北関東、北陸
果樹全般	果樹カメムシ類	南東北、関東、東海、近畿、中国、四国、北九州	甲信、北陸、南九州
茶	チャノホソガ		南関東、近畿、南九州
	カンザワハダニ	南九州	南関東、近畿、北九州
	ハマキムシ類		南関東、東海、近畿、南九州
	炭そ病		南関東、東海、近畿、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、南東北、関東、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されており、本年は現時点で20都府県から延べ21件の注意報が発表されています。今後、当年世代（越冬世代以降の世代）を中心に、夏期の薄暮時に餌を求めて園地を移動するようになります。本年の越冬世代の発生が多かった地域では当年世代の発生量に注意が必要です。本虫類の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

なし

・**ハダニ類**の発生が、北東北、関東、甲信、北陸、近畿及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、長野県から注意報が発表されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**シンクイムシ類**の発生が、北関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、地域ごとの防除基準に従って適期に防除を実施してください。

もも

・ハダニ類の発生が、甲信の一部の地域で多くなると予想されており、長野県から注意報が発表されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

りんご

・ハダニ類の発生が、北東北、甲信及び北陸の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県及び長野県から注意報が発表されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

かんきつ

・ハダニ類の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫類は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫類の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

茶

・カンザワハダニの発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。また、本虫は、高温乾燥で増加する傾向があるため、気温が高く、降水量が少なくなると予想される地域において本虫の発生を認めた場合は注意が必要です。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年7月6日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月6日	大阪府	果樹全般	果樹カメムシ類
7月7日	石川県	水稻	斑点米カメムシ類
7月7日	東京都	果樹全般	果樹カメムシ類
7月8日	大分県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月8日	徳島県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月11日	埼玉県	ねぎ	ネギさび病
7月12日	広島県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月12日	群馬県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月14日	岩手県	水稻	斑点米カメムシ類
7月14日	和歌山県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月14日	高知県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月15日	北海道	水稻	斑点米カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ）
7月15日	島根県	水稻	斑点米カメムシ類
7月15日	島根県	果樹全般	果樹カメムシ類
7月15日	愛知県	水稻	斑点米カメムシ類
7月19日	山口県	水稻	イネいもち病（葉いもち、穂いもち）
7月19日	滋賀県	水稻	イネいもち病（穂いもち）
7月19日	長崎県	かんきつ	カンキツかいよう病
7月20日	岩手県	水稻	イネいもち病（穂いもち）
7月20日	長野県	水稻	イネいもち病
7月21日	滋賀県	水稻	斑点米カメムシ類
7月21日	山形県	水稻	斑点米カメムシ類
7月22日	福井県	水稻	斑点米カメムシ類
7月26日	秋田県	水稻	斑点米カメムシ類
7月27日	京都府	水稻	斑点米カメムシ類
7月27日	京都府	ねぎ等野菜類、豆類、花き類	シロイチモジヨトウ
7月27日	京都府	水稻	イネいもち病（穂いもち）
7月27日	埼玉県	野菜類、花き類	オオタバコガ
7月27日	埼玉県	ねぎ	シロイチモジヨトウ
7月28日	岩手県	りんご	ハダニ類
7月29日	岐阜県	水稻	斑点米カメムシ類
7月29日	宮城県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月1日	大分県	なす科作物（ピーマン、トマト）	うどんこ病
8月1日	大分県	ピーマン	タバコガ類（タバコガ、オオタバコガ）

8月1日	北海道	水稻	斑点米カメムシ類（アカヒゲホソミドリカスミカメ）
8月2日	岡山県	水稻	斑点米カメムシ類
8月2日	青森県	水稻	斑点米カメムシ類
8月2日	三重県	果樹全般	果樹カメムシ類
8月2日	高知県	水稻	イネいもち病（穂いもち）
8月2日	愛知県	いちご	イチゴ炭そ病
8月3日	長野県	果樹（りんご、なし、もも）	ナミハダニ
8月4日	石川県	水稻	斑点米カメムシ類
8月4日	富山県	水稻	斑点米カメムシ類
8月9日	秋田県	水稻	斑点米カメムシ類

注)警報を公表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
7月12日	香川県	なす、じゃがいも	タバコノミハムシ
7月15日	岡山県	さつまいも	サツマイモ基腐病
7月22日	香川県	きゅうり	キュウリ退緑黄化病（CCYV）
7月25日	岡山県	-	トマトキバガ
8月5日	東京都	ギンバイカ	ギンバイカ褐斑病（仮称）

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

用語解説

（地域）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅
（平年値は過去10年間の平均）

（参考）今後の発表予定日

第7号：9月7日（水曜日）

第8号：10月12日（水曜日）

第9号：11月9日（水曜日）

第10号：令和5年3月8日（水曜日）

（参考）これまでの発表

第1号：4月13日（水曜日）

第2号：5月11日（水曜日）

第3号：6月8日（水曜日）

第4号：7月6日（水曜日）

第5号：7月20日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382